

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|--|------------------------------|-----------|-----------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 宮崎県延岡市 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画 | | |
| 4 実施計画期間 | 平成 28 年度 ～ 平成 32 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>《計画の指針》</p> <p>本市は、平成19年3月の1市3町の合併以降、東九州自動車道の開通に伴う本格的な高速道路時代に突入し、ますます激化する地域間競争を勝ち抜きながら新たなステージへと展開していく必要があり、本市の地域の特性や資源を最大限生かしていくとともに、市民と行政が協働・連携し様々な課題克服の方策を検討し「延岡新時代」に相応しい魅力的なまちづくりが求められている。</p> <p>平成28年度にスタートした「第6次延岡市長期総合計画（平成28～平成38年度）」では、こうしたまちづくりのグランドデザインとしての役割を担うものとして策定したところである。この中では、高速道路が繋がり「陸の孤島」を脱した延岡新時代において、市民がやりがいを感じながら日々の仕事を楽しむことができ、経済の活気や街のにぎわいと共に自然の豊かさや歴史・文化の厚み、また市民力の高さなどを誇りを持って実感できるまちを目指していくこととしている。なお、本計画における文化遺産総合活用推進事業に関係するものとして以下の事項を掲げている。</p> <p>第1部「地域の特色を活かした交流連携のまちづくり」 第6章「歴史・文化を学び育むまちづくり」 ①歴史・文化的行事の振興（・地域の伝統文化の振興・市民参加型行事の推進） ②歴史・文化遺産の保護と活用 第4部「豊かな心を育むまちづくり」 ③文化活動の推進（・文化活動の充実・文化団体等の育成・文化施設の整備）</p> <p>以上の指針(長期総合計画)を踏まえ、延岡市が掲げる都市像「市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」“新しい延岡を楽しもう”の実現に向け、「延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画」を推進する。</p> <p>延岡市の文化力、地域力、市民力は、健全・旺盛で、強い結束力や行動力があるが、大きな課題として、その活動を支える財政基盤が脆弱であり、構想・企画があっても、その志を実現できないままになっている。さらに、九州で2番目の面積を有する広域自治体として、里、山、川、海といった地域毎に多様な文化遺産が包蔵していることから、事業の展開にあたっては一分野の地域文化遺産に限定したものにならないように配慮し、多彩な地域文化遺産の掘り起しに努めるとともに、地域文化団体が有機的、機能的に結びつき十分に力が発揮できるよう連携指導を行う。</p> <p>このように、様々な地域文化団体に「延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画」に公平・平等に参加できるよう推進し地域全体の活性化に努めるために、以下の重点実施文化活動を設定する。 《重点実施文化活動 キーワードは“再発見”》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①郷土の歌人若山牧水の顕彰・情報発信・「繁が牧水になったまち」のべおかとしての再発見活動 ②旧延岡藩主内藤家旧蔵の能面を通じた能楽の楽しさ再発見・体験・普及・継承活動 ③石塔など地域の文化遺産の調査・記録・研究・再発見活動 ④地域に受け継がれてきた神輿などの復元・再発見活動 ⑤港町・海の文化・郷土芸能の再発見活動 ⑥伝統のやきものの再発見・復元活動 ⑦地域に残る伝統的建造物再発見・記録・情報発信活動 ⑧地域に伝承する神楽の保存・継承・活動基盤整備活動 ⑨郷土芸能保存・伝承を通じた再発見活動・交流活動・活動基盤整備活動 ⑩伝統工芸品の保存・継承に関する再発見活動・情報発信活動 ⑪語り部活動の継承・地域に伝わる民話・昔話の掘り起し・再発見活動 ⑫我が国の伝統文化を象徴する「華道・茶道・舞踊」等の体験機会の創出・普及・再発見活動 ⑬地域に包蔵する里山文化の掘り起し・体験機会の創出・再発見活動 <p>上記の項目に基づき、この中から申請団体が作成する実施計画との調整を行う。</p> | | | |

6 実施体制

本事業は、延岡市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。

主な担当課：延岡市教育委員会文化課

本事業の実施については、多様な活動分野の団体等で構成する、次の二つの実行委員会が行う。

◆オール延岡人！！市民みんなでスクラム組んで！！いっしょにやっちみろや！！文化遺産を活かした地域活性化実行委員会

実行委員長 木本宗雄
構成団体一覧・実行委員名簿は別紙のとおり

◆あがたの趣を伝える地域活動実行委員会

実行委員長 山崎洋一
構成団体一覧・実行委員名簿は別紙のとおり

(※補足説明)

延岡市の地域文化活動は、「伝統文化親子教室」の採択数約120教室という数字にも表れているとおり、多彩な分野で活発に行われており、文化庁事業への関心が高い。今回の「文化遺産を活かした地域活性化事業」にも団体からの問い合わせがあり、延岡市の多くの歴史・文化団体が加盟している「延岡市郷土芸能保存会」「城山神楽祭実行委員会」「延岡市文化連盟」と協議し、一つの事務局では多様な活動を統一的に把握し有機的な成果をあげることが困難であると判断し、上記2つの実行委員会を結成し申請することとした。

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要

(1) 補助金額

～平成28年度交付決定額： 96,601 千円

平成29年度申請額： 11,622 千円

(2) 実施事業の概要

別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

市民が地域（故郷）の文化遺産の「発見・再発見」による関心の高まりや意識の向上を通じて地域への愛着（郷土愛）が深まるとともに、文化遺産の保存と確かな継承など地域文化の活性化が期待される。また、これまで以上に行政と市民団体等との連携・協力体制の円滑な構築に向けた足掛かりにもなり、本市が掲げる“新しい延岡を楽しもう”「延岡新時代」の醸成の一翼を担うことが期待される。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

| | |
|-------|---|
| 事業概要： | ①オール延岡人 伝統的建造物の保存と活用をする会→講師謝金の一部を自己負担 53千円 |
| 事業概要： | ②あがたの趣 城山神楽祭実行委員会→地域で開催される神楽情報の広告代を自己負担 203千円、城山かぐらまつりの用紙の一部を自己負担 31千円 三川内の霜月祭を守る会→神楽後継者育成の謝金の一部を自己負担 24千円、神輿の修復費の一部を自己負担 368千円 |
| 事業概要： | |

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

現在、（仮称）延岡市文化振興計画の策定に向け取り組んでおり、平成29年度末に完成する予定である。

12 担当部局

地方公共団体
担当部局課 延岡市教育委員会文化課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 オール延岡人①

| | | | | | | |
|------------|--|----------|----------|----------|-----------------|----------|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 1 : | 「郷土師」として地域の魅力を発信する活動者数 | | | 関連事業 : | 郷土師養成講座事業 | |
| 目標値 1 : | 平成 28 年度 | | 15 人 | ⇒ | 平成 32 年度 20 人 | |
| 設定根拠 1 : | 「郷土師養成講座」に参加者を対象とし、団体による推定値 | | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分 2 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 2 : | その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 2 : | ヘリテージマネージャー受講者を対象とした調査・記録マネジメント若しくは補修・改修件数 | | | 関連事業 : | 人材育成研修会・職人塾Ⅲ | |
| 目標値 2 : | 平成 28 年度 | | 0 件 | ⇒ | 平成 32 年度 10 件 | |
| 設定根拠 2 : | ヘリテージマネージャー受講者を対象とし、団体による推定値 | | | | | |
| 進捗状況 2 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |
| | | | | | | |
| 目標区分 3 : | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分 3 : | 地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 3 : | 皆伝馬踊り保存会の会員及び協力者数 | | | 関連事業 : | 皆伝馬踊り普及啓発事業 | |
| 目標値 3 : | 平成 28 年度 | | 61 人 | ⇒ | 平成 32 年度 70 人 | |
| 設定根拠 3 : | 現状の成果をもとに団体による推定値 | | | | | |
| 進捗状況 3 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分 4 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 4 : | 地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 4 : | 伝統的建造物の保存と活用をする会の会員数 | | | 関連事業 : | 歴史的建造物をまわるまちあるき | |
| 目標値 4 : | 平成 26 年度 | | 12 人 | ⇒ | 平成 32 年度 36 人 | |
| 設定根拠 4 : | まちあるき参加者の賛同状況をもとに団体が推定 | | | | | |
| 進捗状況 4 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 オール延岡人②

| | | | | | | |
|------------|--|----------|----------|----------|-----------------|----------|
| 目標区分 5 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 5 : | 地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 5 : | 歴史的建造物のまちあるきの案内ボランティア数の活動数 | | | 関連事業 : | 歴史的建造物のあるくまちあるき | |
| 目標値 5 : | 平成 28 年度 | | 2 人 | ⇒ | 平成 32 年度 6 人 | |
| 設定根拠 5 : | まちあるき開催に伴う参加者の関心度から団体が独自に試算 | | | | | |
| 進捗状況 5 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分 6 : | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分 6 : | 地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 6 : | 「伝統的建造物ハザードマップ」等を参考にした防災計画書の作成数 | | | 関連事業 : | 文化財と防災についての講演会 | |
| 目標値 6 : | 平成 28 年度 | | 0 地区 | ⇒ | 平成 32 年度 3 地区 | |
| 設定根拠 6 : | 「伝統的建造物ハザードマップ」を活用した講演会等参加者の関心度から団体が試算 | | | | | |
| 進捗状況 6 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 0 地区 | 地区 | 地区 | 地区 | 地区 | 地区 | 地区 |
| 0% | | | | | | |
| 目標区分 7 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 7 : | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 7 : | 松山女性部郷土芸能保存会の新規会員数 | | | 関連事業 : | 郷土芸能用具整備事業 | |
| 目標値 7 : | 平成 28 年度 | | 25 人 | ⇒ | 平成 32 年度 25 人 | |
| 設定根拠 7 : | 高齢化に伴う会員の円滑な世代交代を目指す、地域の人口社会減から現状維持を設定 | | | | | |
| 進捗状況 7 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分 8 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 8 : | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 8 : | 大武権伝馬踊り保存会の会員数 | | | 関連事業 : | 権伝馬踊り継承事業 | |
| 目標値 8 : | 平成 28 年度 | | 60 人 | ⇒ | 平成 32 年度 60 人 | |
| 設定根拠 8 : | 少子高齢化による地域の人口社会減の状況から、現状維持を設定 | | | | | |
| 進捗状況 8 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 オール延岡人③

| | | | | | | |
|------------|-----------------------------------|----------|----------|-------|--------------|-------|
| 目標区分 9 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 9 : | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 9 : | 松山女性部郷土芸能保存会の音頭の担い手数 | | | 関連事業: | 郷土芸能継承事業 | |
| 目標値 9 : | 平成 28 年度 | | 0 人 | ⇒ | 平成 32 年度 3 人 | |
| 設定根拠 9 : | 団体が最重要課題として取り組んでいるもので団体が設定 | | | | | |
| 進捗状況 9 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 あがたの趣①

| | | | | | | |
|------------|---|----------|----------|----------------|------------------------------------|----------|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域の祭礼行事等への入込客数 | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標 1 : | 城山かぐらまつり、三川内神楽まつり等の行事への入込客数 | | | 関連事業 : | 神楽を通じた地域の活性化事業 | |
| 目標値 1 : | 平成 27 年度 | 3,500 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 4,500 人 | |
| 設定根拠 1 : | H32年度主要観光施設利用者推計及びH25年度利用実績比 (+19.6%) を参考として、毎年度伸び率約3%と設定 | | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分 2 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 2 : | 地域の文化遺産への来場者数 | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標 2 : | 延岡市郷土芸能保存会への新規加入団体数 | | | 関連事業 : | のべおか郷土芸能フェスティバル2017 | |
| 目標値 2 : | 平成 28 年度 | 28 団体 | ⇒ | 平成 32 年度 | 30 団体 | |
| 設定根拠 2 : | 地域の伝統芸能の掘り起し活動による団体試算 | | | | | |
| 進捗状況 2 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 団体 | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 | 団体 |
| | | | | | | |
| 目標区分 3 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 3 : | 地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標 3 : | 延岡市郷土芸能保存会による、各種文化行事や地域間交流等のイベントでの出演回数(自主事業) | | | 関連事業 : | のべおか郷土芸能フェスティバル2017、神楽を通じた地域の活性化事業 | |
| 目標値 3 : | 平成 28 年度 | 7 回 | ⇒ | 平成 32 年度 | 15 回 | |
| 設定根拠 3 : | 団体からの聞き取り調査をもとに設定 | | | | | |
| 進捗状況 3 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | 回 |
| | | | | | | |
| 目標区分 4 : | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分 4 : | その他 | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標 4 : | 地域の文化遺産イベント等におけるソーシャルキャピタル数 (協賛企業・団体・個人) | | | 関連事業 : | 神楽を通じた地域の活性化事業 | |
| 目標値 4 : | 平成 25 年度 | 48 件 | ⇒ | 平成 32 年度 | 120 件 | |
| 設定根拠 4 : | ソーシャルキャピタルの動向をもとに団体が試算 | | | | | |
| 進捗状況 4 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |
| | | | | | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 あがたの趣②

| | | | | | | |
|------------|--|----------|----------|----------|---------------|--|
| 目標区分 5 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 5 : | その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 5 : | 三川内神楽祭実行委員会の SNS 上における情報発信の「いいね」の数 | | | 関連事業 : | 桜咲く三川内神楽まつり | |
| 目標値 5 : | 平成 28 年度 | 170 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 250 人 | |
| 設定根拠 5 : | 団体による試算 | | | | | |
| 進捗状況 5 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 6 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 6 : | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 6 : | 三川内地区の地元小中学生を対象とした神楽教室等実施による保存会会員数の維持 | | | 関連事業 : | 神楽後継者育成事業 | |
| 目標値 6 : | 平成 28 年度 | 83 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 87 人 | |
| 設定根拠 6 : | 人口の社会減があるが、団体試算による数値 | | | | | |
| 進捗状況 6 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 7 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 7 : | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 7 : | 神楽保存会会員数 | | | 関連事業 : | 神楽の研鑽で明日を作る事業 | |
| 目標値 7 : | 平成 25 年度 | 192 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 250 人 | |
| 設定根拠 7 : | 若手の育成及び子ども世代への継承指導実績を踏まえた試算 | | | | | |
| 進捗状況 7 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 8 : | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分 8 : | 地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 8 : | 太鼓の利用機会創出に伴う文化活動への市民参加者数 | | | 関連事業 : | 郷土芸能保存伝承支援事業 | |
| 目標値 8 : | 平成 29 年度 | 100 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 300 人 | |
| 設定根拠 8 : | 現状を踏まえ団体が試算 | | | | | |
| 進捗状況 8 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙 あがたの趣③

| | | | | | | |
|-----------|---|----------|----------|----------|----------------|----------------|
| 目標区分9: | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分9: | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) |
| 具体的な指標9: | 松山女性部郷土芸能保存会の音頭の担い手数 | | | 関連事業: | 郷土芸能継承事業 | |
| 目標値9: | 平成 28 年度 | | 0 人 | ⇒ | 平成 32 年度 3 人 | |
| 設定根拠9: | 団体が最重要課題として取り組んでいるもので団体が設定 | | | | | |
| 進捗状況9: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分10: | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分10: | その他 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) |
| 具体的な指標10: | 桜咲く三川内神楽まつり | | | 関連事業: | 桜咲く三川内神楽まつり | |
| 目標値10: | 平成 27 年度 | | 550 人 | ⇒ | 平成 32 年度 650 人 | |
| 設定根拠10: | H32年度主要観光施設利用者推計及びH25年度利用実績比 (+19.6%) を参考として、毎年度伸び率約3%と設定 | | | | | |
| 進捗状況10: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分11: | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分11: | 地域の文化遺産への来場者数 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) |
| 具体的な指標11: | 三川内地区における年中行事(神楽)への来場者数 | | | 関連事業: | 神楽後継者育成事業 | |
| 目標値11: | 平成 28 年度 | | 290 人 | ⇒ | 平成 32 年度 350 人 | |
| 設定根拠11: | 団体からの聞き取りによる推定値 | | | | | |
| 進捗状況11: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 目標区分12: | 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化 | | | | | |
| 評価指標区分12: | その他 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) |
| 具体的な指標12: | 「郷土師」として地域の魅力を発信する活動者数 | | | 関連事業: | 郷土師養成講座事業 | |
| 目標値12: | 平成 28 年度 | | 15 人 | ⇒ | 平成 32 年度 20 人 | |
| 設定根拠12: | 「郷土師養成講座」参加者を対象として団体による推定値 | | | | | |
| 進捗状況12: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|---------------------|----------|
| 事業⑥： | 文化財と防災についての講演会 | | | 実施団体： | 伝統的建造物の保存と活用をする会 | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | | 事業期間： | 平成 26 年度 ~ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 平成27年度に作成した「伝統的建造物ハザードマップ」(延岡市地震編①予想震度版、延岡市地震編②急傾斜地崩壊危険度版、延岡市津波編①延岡市街周辺、延岡市津波編②延岡市北部海岸版)を基に説明と講演会の開催する。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・その他 | | | | (具体的な指標は次のとおり) | |
| 具体的な指標： | 「防災計画書」を作成する地区数 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 0 件 | | ⇒ 平成 32 年度 3 件 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |
| | | | | | | |
| 事業⑦： | 郷土芸能普及啓発事業 | | | 実施団体： | 松山女性部郷土芸能保存会 | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | | 事業期間： | 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | イベント等への参加(年3回以上)を活用した新規会員加入を行い、普及啓発・継承に繋いでいく。また、子供団七保存会の指導を継続的に実施し、親世代への参加促進を図るとともに高齢化する会の会員減に歯止めを目指す。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会への新規入会者数 | | | | H29年度は自主事業 | |
| 具体的な指標： | 会員が高齢化が進んでいる為、松山女性部郷土芸能保存会への新規会員勧誘に努め、会員数の安定化を図る | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 25 人 | | ⇒ 平成 32 年度 25 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 事業⑧： | 権伝馬踊り継承事業 | | | 実施団体： | 港町大武の文化を伝える会 | |
| 事業区分： | 後継者養成 | | | 事業期間： | 平成 26 年度 ~ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 大武町の住民が継承し続けている港町大武の古き良き姿を今に伝える「権伝馬踊り」を、次世代を担う子ども達に継承する。大武町の歴史や権伝馬踊りを紙芝居や写真でも学び、実技指導では口上の意味についても学ぶ。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化(維持) | | | | (具体的な指標は次のとおり) | |
| 具体的な指標： | 港町大武の文化を伝える会会員数の維持 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 60 人 | | ⇒ 平成 32 年度 60 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|----------------|---------------------|----------|
| 事業⑨： | 郷土芸能継承事業 | | | | 実施団体： | 松山女性部郷土芸能保存会 | |
| 事業区分： | 後継者養成 | | | | 事業期間： | 平成 28 年度 ～ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 現在、会員間で出来ない分野（音頭）の指導を受け、自前で継承可能な人材を育成するとともに、次世代への継承活動が円滑に行われるよう目指す。また、会員間の練習を絶やさないことで伝統文化の継承の糸が途切れないように努める。 | | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 音頭（松山女性部郷土芸能保存会）が可能となる会員数の創設（高齢化で踊りが難しくなっている会員を中心に「音頭」への転向を目指す） | | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 0 人 | | ⇒ 平成 32 年度 | | 3 人 |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 | 平成 36 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | | |
| 事業⑩： | 郷土芸能用具整備事業 | | | | 実施団体： | 松山女性部郷土芸能保存会 | |
| 事業区分： | 用具等整備 | | | | 事業期間： | 平成 28 年度 ～ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 現在、保存会では経年劣化により帯が無く、必要時に地域内外の人から借用している状況のため、帯を購入することにより円滑な利用機会創出と、新規会員の加入促進・伝統文化の継承を目指す。 | | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会への新規入会者数 | | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 松山女性部郷土芸能保存会会員が高齢化が進んでいる為、新規会員を入れ会員数の安定化を図る | | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 25 人 | | ⇒ 平成 32 年度 | | 25 人 |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 | 平成 36 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------------|---------------------|----------|
| 事業④： | 神楽の研鑽で明日を作る事業 | | | 実施団体： | 城山神楽祭実行委員会 | |
| 事業区分： | 後継者養成 | | | 事業期間： | 平成 25 年度 ～ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 団体が主導し指導の充実を図る。中堅若手の後継者には、伝承された所作が確実に舞えるか指導。また、構成員相互の交流を図り、若い世代が将来に向けて神楽を継承していける条件整備を進めていく。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 若手の育成及び、子供への確実な継承指導を行い城山神楽祭実行委員会会員数の維持を図る。 | | | | | |
| 目標値： | 平成 25 年度 | | 192 人 | ⇒ | 平成 32 年度 195 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 事業⑤： | 神楽後継者育成事業 | | | 実施団体： | 三川内の霜月祭を守る会 | |
| 事業区分： | 後継者養成 | | | 事業期間： | 平成 25 年度 ～ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 4地区の保存会（歌糸、大井、市尾内、下塚地区）それぞれにおいて4名の神楽経験者である古者を招き、霜月祭開催前の8月～10月の間に合計12回の神楽伝承活動を行う。これにより、若手や新規後継者への正確な神楽の継承と技術の向上を図る。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 平成28年度の4地区全体（歌糸、大井、市尾内、下塚）の保存会会員数83名を平成32年度までに87名とする。 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 83 人 | ⇒ | 平成 32 年度 87 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |
| 事業⑥： | 奏楽を楽しむ事業 | | | 実施団体： | 城山神楽祭実行委員会 | |
| 事業区分： | 用具等整備 | | | 事業期間： | 平成 25 年度 ～ 平成 32 年度 | |
| 事業概要： | 長年使用の太鼓の皮が経年劣化により破損しているため更新し、円滑な継承指導の環境整備を図るとともに次世代を担う子ども達のモチベーションアップを目指す。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 伝承活動を円滑に行う事で、城山神楽祭実行委員会会員数の維持に努める。 | | | | | |
| 目標値： | 平成 25 年度 | | 192 人 | ⇒ | 平成 32 年度 192 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | | | | |

| | | | |
|----------|---|----------------|---------------------|
| 事業⑦： | 郷土芸能保存伝承支援事業 | 実施団体： | 延岡市郷土芸能保存会 |
| 事業区分： | 用具等整備 | 事業期間： | 平成 29 年度 ~ 平成 32 年度 |
| 事業概要： | 保存伝承活動のため共同で使用している太鼓があるが、長年の使用による破損の恐れがあるため活動への支障が懸念されている。このため、太鼓の皮張りを新調し切れ目なく保存伝承活動が図られるよう資する。 | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | （具体的な指標は次のとおり） | |
| 具体的な指標： | 延岡市郷土芸能保存会会員数の維持 | | |
| 目標値： | 平成 29 年度 | 300 人 | ⇒ 平成 32 年度 300 人 |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | |
| 事業⑧： | 神楽継承のための用具等の修繕・新調 | 実施団体： | 神楽継承のための用具等の修繕・新調 |
| 事業区分： | 用具等整備 | 事業期間： | 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度 |
| 事業概要： | 神輿について、各部位の破損や歪みが生じているため霜月祭での使用にも支障を来す事態となっていることから修復を行う。神楽面8面について、表面の塗装が剥離し鼻など欠落した箇所もあるため修復を行い地域文化遺産の保存継承を図る。 | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | （具体的な指標は次のとおり） | |
| 具体的な指標： | 平成28年度の4地区全体（歌糸、大井、市尾内、下塚）の保存会会員数83名を平成32年度までに87名とする。 | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | 83 人 | ⇒ 平成 32 年度 87 人 |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 |
| 人 | 人 | 人 | 人 |
| | | | |